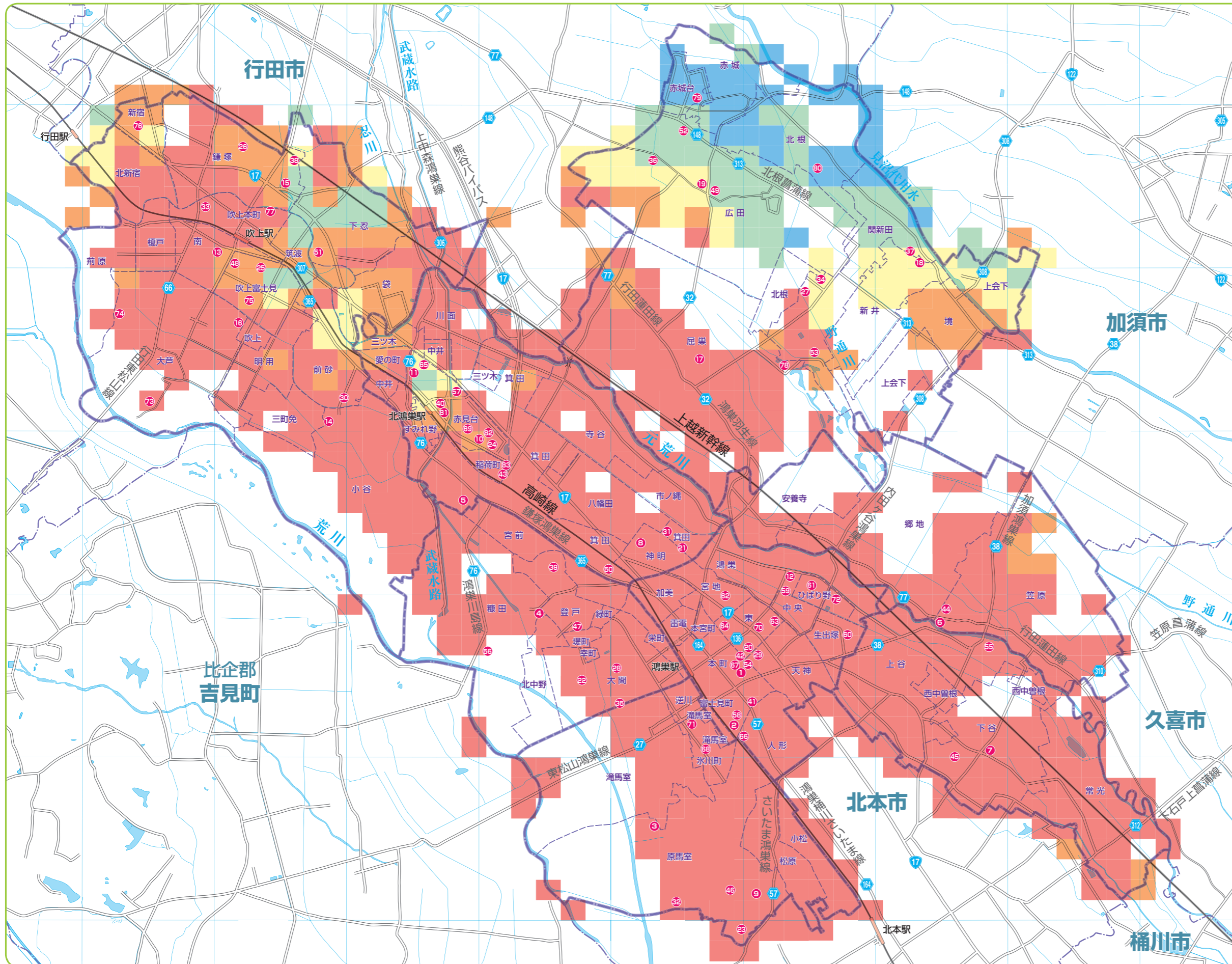


# 地震ハザードマップ — 地域危険度マップ



## ■地域危険度マップ

地域危険度マップとは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、約250m単位で分割したメッシュ（網目）ごとに表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」（P28）で示している、平成24・25年度に埼玉県が実施した地震被害想定調査の5地震の結果のうち、最も揺れの程度（震度）が大きいと想定されたものを採用し、メッシュごとに全壊する建物の割合を算出。それを危険度として示しています。地震による被害を最悪の場合で想定しており、危険度の数値が大きくなるほど地域の建物を受ける被害が大きくなります。

### ●想定している地震

- ①東京湾北部地震（M7.3）
- ②茨城県南部地震（M7.3）
- ③元禄型関東地震（M8.2）
- ④関東平野北西縁断層帯地震（M8.1）
- ⑤立川断層帯地震（M7.4）

### 危険度

危険度数	全壊する建物の割合
危険度5	5%以上
危険度4	3%以上～5%未満
危険度3	2%以上～3%未満
危険度2	1%以上～2%未満
危険度1	0%超～1%未満
	建物がないか、最大震度が5.4以下で建物全壊の危険が0%と想定される場所です。